

## 令和6年度第4回市民参加推進・評価会議 会議要旨

1 日時	令和7年3月21日（金） 午後3時00分～4時30分
2 場所	大和市役所本庁舎 研修室
3 出席者	委員9人（近藤 憲之 委員、沓掛 大乘 委員、長谷部 美由紀 委員、和泉 純一 委員、東郷 秀夫 委員、徳王 好恵 委員、平田 美智子 委員、松田 真弘 委員、南 真美 委員） 事務局4人（政策部長、政策総務課長他2人）
4 傍聴人数	0人
5 議題	（1）会長及び職務代理者の選出 （2）諮問 （3）議事 ①令和7年度市民参加手続の実施予定について ②その他
6 議事要旨	・会長に長谷部委員、職務代理者に近藤委員が選出された。 ・市長から「令和7年度市民参加手続の実施予定に対する総合評価について」の諮問が行われた。 ・会議資料に基づき事務局から説明を行い、答申内容をまとめるため、質疑応答及び意見交換を行った。
7 会議資料	・資料 1：令和7年度市民参加手続の実施予定 ・資料 2：令和7年度審議会等委員の公募実施予定 ・資料 3：実施予定に対する総合評価の過去の答申内容（抜粋） ・資料 4：今後の市民参加推進・評価会議開催予定 ・参考資料1：大和市市民参加推進条例 ・参考資料2：大和市市民参加推進条例施行規則

### 【主な質疑等】

委員：人権指針の改定にあたっては、近年カスタマーハラスメントの問題が取り上げられることも多いので、飲食店などの企業からも意見を聴取できると良いと思う。

委員：一般廃棄物処理基本計画の改定について、ごみの分別は子どもから大人まですべての世代に関わることなので、ワークショップを開いたり、分かりやすく絵を描いたり、子どもも実践しやすい内容としてもらいたい。

事務局：それぞれ所管課にご意見を共有させていただく。

委員：審議会等の女性委員の割合について、全体的に低いと感じるので、女性に対する周知・啓発を進めた方が良いと考える。

委員：女性委員の割合については、8月に当審議会から「公募委員の選考にあたっ

ては、委員の男女比率に大幅な偏りが生じないよう配慮することを求めます。」と答申しており、それが反映されて改善されることを期待している。

委員：公募委員を選考するとき、募集人数に対して応募人数が多ければ、女性の選考に配慮することもできるが、過去の実績をみると、募集人数と応募人数が同じ審議会や、差が少ない審議会が多く、そもそも女性の応募がなければ選考することも難しいのではないかと思う。

委員：委員の公募を LINE で案内している事例をいくつか見たことがあり、すべての審議会で LINE を使った PR をしていけば、応募率も上がるのではないかと思う。

事務局：女性委員の割合については、「男女共同参画プラン」においても具体的に目標を定めて、参画推進に努めているところであり、引き続き周知していく。

委員：女性の参画という面では、審議会のような会議形式のものよりも、ワークショップのような気軽に自身の思いを話せるような場のほうが参加しやすいかもしれない。また、この審議会に応募する際に感じたこととして、自分自身で募集の情報を探しに行かなければならなかったり、小論文のフォーマットをダウンロードして縦書きで記入する必要があったりと、応募までのステップが煩雑で面倒だと感じた。そのあたりを、デジタルを活用して簡潔にできると良いと思う。

委員：デジタルの良いところは安価に運用できることで、例えば、市民参加の情報を周知するとき、動画で分かりやすく簡潔に配信することもできるし、市民の意見を聴取するときにも、スマートフォンで簡単に意見を言ってもらい、それを生成 AI で解析するなど色々な工夫ができると思うので、そういった方法も研究できると良いと思う。

事務局：いただいた意見を踏まえて、答申の素案を作成し、次回の審議会で提示させていただきます。

以上